

No.207

林業ぐんま



目次

目次	
林政情報	1
・平成三十一年度群馬県森林・林業関係 施策及び組織改正の概要	
・山火事予防にご協力ください！	
平成31年度 春の緑化関連行事予定	4
各地のたより	5
(波川) きのこの栽培体験を 通した消費拡大	
(西部) 榛名県有林を行く	
(藤岡) ぐんま緑の県民基金事業を 活用した森林環境教育	
(富岡) 南牧村で造林地のシカ捕獲を推進！	
(吾妻) 林業現場の巡回指導を実施	
(利根沼田) 「21世紀の森」雪まつりを開催	
(桐生) 林業関係事業視察研修会を開催 地域を担う人	9
鹿沼 拓充さん 田中 篤志さん 小林 裕雅さん 須藤 隆行さん	
森の談話室	11
・いつも見ていた故郷の山と町で 下仁田町森林組合 三井田 大地さん	
読者からの投稿	12
・さらに50年先を見据えて 信用第一地域に根ざした企業を目指す！ 萩原工業 萩原哲也さん	
トピックス	13
・WOODコレクション2019	
・ぐんま林業学校(林業基礎研修)	
・第十九回群馬県きのこ料理コンクールの 開催	
・第二十二回群馬県きのこ品評会の開催	

春

2019

群馬県林業改良普及協会

林政情報

平成三十一年度 群馬県森林・林業関係施策 及び組織改正の概要

今年度は、年間の素材生産量40万m³を目標に掲げた「群馬県森林・林業基本計画」の最終年であり、目標達成に向け、素材生産から加工・流通、木材利用に至るまでの各種施策に一体的に取り組んでいきます。これらの取組により、林業の成長産業化と「林業県ぐんま」の実現を推進します。

なお、県政運営の羅針盤である「第十五次県総合計画」の施策体系に基づく森林・林業に係る主要事業は以下のとおりです。

一方で林業を取り巻く環境は大きく変化しており、これらの状況に対応するため、環境森林部を「森林環境部」に、環境森林事務所を「森林環境事務所」に改称します。

また、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図るために創設された「森林経営管理制度」の早期定着に向けた取組を推進するため、林政課内に「経営管理室」を新たに設置します。

平成31年度 森林環境部 施策体系及び主要事業

基本目標 I 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

(政策)	(施策)	(主要事業)	(当初予算額)	(担当課)
政策1	群馬の未来を担う子ども・若者の育成	郷土への誇りと愛着の育成	85,046千円	自然環境課
政策2	群馬の飛躍と地域の安心を支える職業人材の育成	林業労働力対策	67,981千円	林業振興課
		森林組合強化対策	3,472千円	林業振興課

基本目標 II 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

政策6	安全な暮らし実現	危機管理体制の整備	環境放射能水準調査 放射性物質汚染対処特別措置法遵守状況監視	8,071千円 569千円	環境保全課 廃棄物・リサイクル課
		災害に強い県土づくり	間伐等森林整備 治山事業	1,632,027千円 7,052,000千円	林政課、森林保全課、 緑化推進課 森林保全課
		身近な暮らしの安全確保	群馬のきのこ安全確保対策 きのこ原木林再生技術の開発	14,153千円 1,236千円	林業振興課 林業試験場
政策8	優れた群馬の環境の保全・継承	自然環境・生活環境の保全	大気保全推進	82,716千円	環境保全課
			自然環境対策	19,031千円	自然環境課
			自然公園等管理	53,530千円	自然環境課
			自然公園等整備	69,615千円	自然環境課
			指定管理鳥獣捕獲等事業	91,149千円	自然環境課
			森林病害虫等防除対策	53,099千円	林政課
政策11	群馬の産業の強みを活かす戦略	「林業県ぐんま」の実現	ぐんま緑の県民基金事業(森林整備等)	858,869千円	緑化推進課、林業試験場
			ぐんま緑の県民基金事業(森林ボランティア支援)	10,883千円	緑化推進課
			ぐんまエコスタイル推進	2,048千円	環境エネルギー課
政策11	群馬の産業の強みを活かす戦略	「林業県ぐんま」の実現	循環型社会づくり推進対策	4,615千円	廃棄物・リサイクル課
			ぐんま緑の県民基金事業(森林環境教育指導者育成・派遣)	2,946千円	緑化推進課
			森林環境教育推進	6,349千円	緑化推進課
			緑化センター運営・森林学習センター運営	27,549千円	緑化推進課
			木材加工試験	5,801千円	林業試験場
政策11	群馬の産業の強みを活かす戦略	再生可能エネルギーの活用促進	住宅用太陽光発電設備等導入資金	283,453千円	環境エネルギー課

基本目標 III 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

政策11	群馬の産業の強みを活かす戦略	魅力あふれる観光県ぐんまの推進	尾瀬学校(再掲)	85,046千円	自然環境課
			自然公園等管理(再掲)	53,530千円	自然環境課
政策11	群馬の産業の強みを活かす戦略	「林業県ぐんま」の実現	自然公園等整備(再掲)	69,615千円	自然環境課
			森林公園整備	70,695千円	緑化推進課
政策11	群馬の産業の強みを活かす戦略	「林業県ぐんま」の実現	群馬県森林・林業基本計画推進	835千円	林政課
			森林経営管理制度推進	62,274千円	林政課
			利用間伐	825,388千円	林政課、緑化推進課
			路網整備	2,173,723千円	林政課
			林業・木材産業振興	449,350千円	林業振興課
			ぐんまの木で家づくり支援	279,400千円	林業振興課
			きのこ等振興対策	226,861千円	林業振興課
			きのこ試験	11,293千円	林業試験場

◎「森林経営管理制度」及び「森林環境譲与税」の開始

これまでの森林経営は、所有者の意思によって、森林組合等の林業事業体へ施業を委託するなどして進められてきました。

しかし山村の高齢化や過疎化、不在村地主の増加などの理由から、経営されない森林が増加しており、森林資源の活用の間からも課題となっていました。

今年4月から導入された「森林経営管理制度」は、一度途切れた森林所有者と林業事業体とのつながりを、市町村が仲介役となって取り戻す制度です。

しかしながら、制度の運用主体となる市町村は、林業の専門職員が少ないなど、円滑な運用に向けて課題があります。

そのため、県では、支援組織として県庁林政課内に「経営管理室」を新設するとともに、室内に「経営管理係」及び「森林資源係」を設け、制度運用を総合的に支援していきます。

また、県にも譲与が始まる「森林環境譲与税」を活用し、市町村の事務効率化・省力化と人材育成、林業就業者の確保などに取り組んでいきます。

◎「ぐんま緑の県民税」の継続

ぐんま緑の県民税は、平成26年度に導入され5年が経過しました。その間、県内35市町村全てで活用されるなど、取組は確実に広がり、地域に定着してきたところです。

このような中、市町村や県議会、「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」などから継続の意見・要望が出され、昨年10月に継続に関する条例案が県議会で議決となりました。

一方、事業要件については、様々な見直し要望が出されたことから改正をしました。主な内容は以下のとおりです。

【水源地域等の森林整備】

○30度以上の急傾斜森林の整備や雪害等被害地の再生を対象に追加。

【市町村提案型事業】

○市町村による森林管理や、獣害防止資材購入、伐採竹の林外搬出への補助等を追加。

○同税の認知率向上のため、森林等に親しむ活動や施業地への看板設置等の支援を追加。

◎平成三十一年度森林関係予算

森林関係の県予算は、総額168億1355万円、対前年比は約111%となりました。公共事業費は、補助公共事業が対前年比119%、単独公共事業が対前年比106%、となつていきます。特に「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」として治山事業等を実施し、災害の未然防止等を図ります。

森林環境部(森林関係) 平成31年度当初予算の状況

1 所属別予算額 (単位:千円)

課名	H31当初 予算額	H30当初 予算額	増減	前年比
林政課	5,802,693	5,518,264	284,429	105.2%
林業試験場	182,901	226,283	△43,382	80.8%
林業振興課	1,657,194	1,381,331	275,863	120.0%
森林保全課	7,165,717	6,039,475	1,126,242	118.6%
緑化推進課	2,005,042	2,007,697	△2,655	99.9%
計	16,813,547	15,173,050	1,640,497	110.8%

2 公共事業 (単位:千円)

区分	H31当初 予算額	H30当初 予算額	増減	前年比
補助公共	7,495,000	6,320,000	1,175,000	118.6%
林道	926,497	799,963	126,534	115.8%
作業道	593,226	589,600	3,626	100.6%
治山	4,745,000	3,790,295	954,705	125.2%
造林	1,110,277	1,020,142	90,135	108.8%
災害復旧	120,000	120,000	0	100.0%
単独公共	2,977,000	2,804,000	173,000	106.2%
林道	304,000	304,000	0	100.0%
林業作業道	270,000	270,000	0	100.0%
治山	2,267,000	2,089,000	178,000	108.5%
造林	90,000	90,000	0	100.0%
水源林等整備推進	46,000	51,000	△5,000	90.2%

林政情報

**山火事予防にご協力ください！
小さな火 大きな森を破壊する**

3月1日～5月31日は県山火事予防運動実施期間です

県内の山火事は、3月に入ると発生が増える傾向があり、例年、5月頃にかけて多発しています。

このこと背景としては、冬～初夏にかけてのこの時期は、
・ 空気の乾燥や強風など、火災が発生しやすい（燃え広がりやすい）気象条件となることが多いこと

林地やその周辺には、堆積した枯れ葉や枯れた下草など、燃えやすいものが多いこと
・ 行楽や、野外での作業に適したシーズンとなり、山林への人の出入りや、野外で火を使う機会が増えること
などが考えられます。

そのため県では、3月1日～5月31日を県山火事予防運動実施期間とし、予防対策に重点的に取り組んでいます。

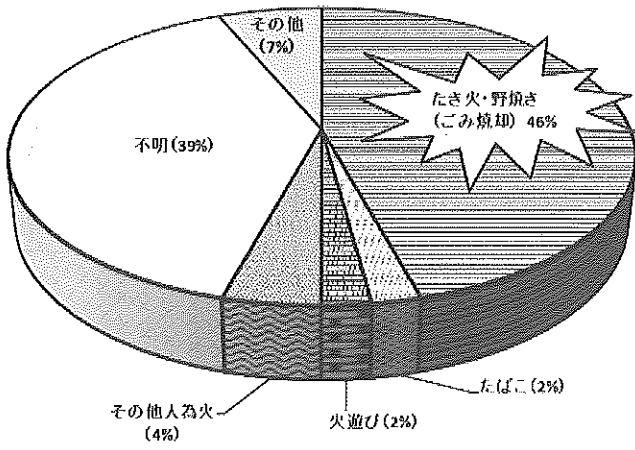
平成30年の山火事発生件数は16件、被害を受けた森林面積は470ヘクタールとなっており、昨年に続き、近年では比較的少ない状況でした。（林政課調べ）

しかしながら、山火事は消火が難しい場合も多いため、ひとたび発生すると、非常に大きな被害をもたらしかねず、油断は禁物です。焼けてしまった森林を再生し、災害を防止するなどの公益的機能を回復させるまでには、多くの費用と長い時間が必要になります。

山火事を防ぐには

山火事の出火原因は、人為的なものがほとんどです。特に、家の庭や田畑の周りでのたき火などから山林に燃え広がる事例などが、依然として多くなっています。

平成26～30年 林野火災発生原因(件数割合)
(計94件)



ちょっとした不注意による「小さな火」から起こる火災を減らし、県民共有の財産である森林を守るため、特に次のようなことに気をつけましょう。

- ・ 枯れ草等の近くなど、周囲に燃え広がる恐れのある場所でたき火等をしない
- ・ 乾燥注意報の発令時や風の強い時は火の取扱に特に注意し、たき火等をしない
- ・ 火気の使用中はその場を離れず、使用後は確実に消火する
- ・ たばこの吸い殻、使用後の炭や焼却灰などは、必ず消火を確認し、適切に処分する
- ・ 火遊びはしない、させない

もしも山火事を発見したら…

燃え広がった火事を無理に消そうとするのは大変危険です。すみやかに119番通報し、安全な場所に避難しましょう。

・ 群馬県林政課 森林整備係
電話 027-2226-3221 (直通)

平成31年度 春の緑化関連行事予定

市町村名	実施日	行事の名称(☆は苗木配布会を予定)	実施場所
前橋市	4月6~21日	赤城南面千本桜まつり	赤城南面千本桜
	4月14日	☆さくらまつり	大胡ぐりんふらわー牧場
	4月29日	敷島公園まつり	敷島公園
	4月29日	天皇陛下の御即位三十年記念植樹	敷島公園(敷島公園まつり会場内)
	4月29日	☆「緑の募金」推進中央キャンペーン	敷島公園(")
	4月下旬	☆須賀の園藤まつり	須賀の園
	5月3日	☆「みどりの日」記念 苗木配布会	前橋市中央商店街(中央広場)
	4月27~29日	敷島浄水場開放	敷島浄水場
	5月12日	☆苗木配布会(赤城神社参道松並木と千本桜の森ウォーキング)	みやぎ千本桜の森
	5月上旬	☆苗木配布会(参道松並木クリーン作戦)	赤城神社参道松並木
5月中旬	☆苗木配布会(粕川町つつじが峰トレッキング)	おおさる山乃家	
5月18日~6月9日	バラ園まつり	敷島公園ばら園	
伊勢崎市	4月13・14日/ 5月11・12日	第7回オープンガーデンいせさき2019 (個人宅の庭公開)	市内個人宅
	4月27・28日	☆グリーンフェスタ2019	華蔵寺公園
渋川市	4月13日	しぶかわ桜まつり	渋川市総合公園
	4月21日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	4月28日	☆小野上温泉まつり	小野上温泉センター
	5月1日	☆苗木配布会(子持山開き)	子持山若人の道駐車場
	5月12日	森林観察会	憩の森森林学習センター
5月19日	☆苗木配布会(渋川駅前通り歩行者天国)	渋川駅前通り歩行者天国会場	
吉岡町	4月未定	吉岡町漆原しだれ桜祭り	道の駅よしおか温泉
榛東村	4月27日	林業試験場樹木園春の一般公開	県林業試験場
玉村町	5月26日	☆苗木配布会(玉村町クリーンセンター見学会)	玉村町クリーンセンター
高崎市	4月14日(予定)	☆花木水まつり	群馬銀行新町支店駐車場
	4月29日	☆たかさきスプリングフェスティバル緑花祭	群馬音楽センター前広場
	5月6日(予定)	☆みさと芝桜まつり	みさと芝桜公園
	5月23日	県緑化センター出張緑化講座 「知っておきたいバラの花後の管理と病虫害防除」	高崎中央公民館
	5月25~26日	誕生記念樹木贈呈	高崎市役所南側ピロティ
6月8日	☆皇太子殿下の御即位記念植樹	群馬の森	
安中市	5月12日	☆安中市緑化用苗木配布会	安中市文化センター
藤岡市	4月22日~5月6日予定	第21回ふじまつり	ふじの咲く丘
	4月27日~5月19日予定	「花と緑のぐんまづくりin藤岡」イベント	ふじの咲く丘他
	4月27日予定	☆苗木配布会	らん藤岡
	5月12日	県緑化センター出張緑化講座「初夏に行いたい庭木の整枝剪定」	藤岡市総合学習センター
神流町	5月4日予定	☆苗木配布会(鯉のぼりフェスティバル)	鯉のぼりフェスティバル会場内
上野村	5月5日予定	☆苗木配布会(十石市)	ヴィラせせらぎ付近会場内
富岡市	5月26日	☆春の苗木配布会	富岡小学校
下仁田町	4月14日	桜観察会	下仁田町上小坂「さくらの里」
	4月21日	写真教室	下仁田町上小坂「さくらの里」
	4月27日	☆春の苗木配布会	道の駅しもにた
	11月4日	写真教室	下仁田町上小坂「さくらの里」
南牧村	4月28日	☆オアシスマつり(春の苗木配布会)	道の駅「オアシスなんもく」
甘楽町	3月31日	☆さくら祭り武者行列(春の苗木配布会)	甘楽町総合公園
	4月中旬(予定)	☆記念苗木植樹	甘楽町福島(路線橋北東周辺)
中之条町	4月16日	☆苗木配布会(中之条町「安市」)	「つむじ」付近
	4月20日	花フェスタ春	中之条ガーデンズ
長野原町	4月27日~ 5月6日のうち1日	☆苗木配布会(創業祭)	道の駅ハツ場ふるさと館
嬬恋村	4月29日	☆苗木配布会(嬬恋村「安市」)	三原商店街
	5月26日	ちよだ・つま恋の森づくり植樹祭	角間山周辺
東吾妻町	4月13日	☆苗木配布会(すいせん祭り)	岩井親水公園
沼田市	3月20日~4月18日	沼田公園桜まつり	沼田公園
	4月7日	☆苗木配布会	沼田公園グラウンド
昭和村	4月中旬(予定)	結婚記念植樹	結婚の森
	4月29日	☆「昭和の日」記念イベント苗木配布会	道の駅「あくりーむ昭和」
桐生市	4月6日~21日	☆第55回吾妻公園チューリップまつり	桐生市吾妻公園
	4月13日	☆第81回市民植木市	桐生市役所構内駐車場
	4月下旬	☆第14回さくら草まつり	桐生市新里農産物等直売所
太田市	5月5日	☆太田市春季緑花祭	八王子山公園(太田市北部運動公園)
館林市	飾花		
	4月20日~5月26日 イベント	花と緑のフェスティバル2019	館林駅~つつじが岡公園
	5月3日~4日		
みどり市	5月中旬	☆浅原体験村創業祭	浅原体験村
	5月中旬	☆春野菜共進会	JAにったみどり笠懸野菜集出荷所
	5月25日	第73回群馬県植樹祭	富弘美術館
邑楽町	5月4日	☆県緑化センター「みどりの集い」	県緑化センター
	5月中旬~下旬	☆緑化苗木無料配布会	邑楽町役場

*26市町村 64回

の便り。

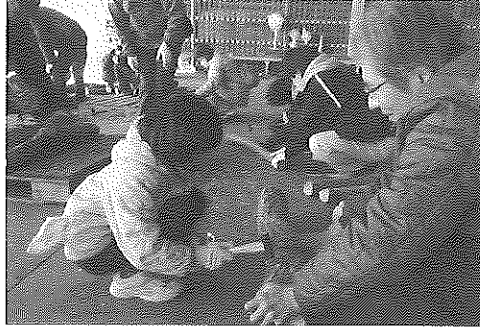
きのこの栽培体験を通じた消費拡大

中毛地区きのこ振興協議会は、一月十九日（土）に前橋市農協野菜集配センターにおいて、「きのこ生産者と消費者との交流会」を開催しました。

前橋市、伊勢崎市内の生産者が会員のこの協議会は、県でも有数な原木しいたけ産地であり、また、消費地でもあります。植菌体験や生産施設の見学を行う消費者との交流は、きのこ栽培への理解を得るとともに、消費者のニーズを掴み、消費拡大に繋がっており、毎年開催されています。

参加した消費者十六名は、生産者の指導で、電気ドリルで穴を開け、種駒を木槌による打ち込みを体験してもらいました。最初は、慣れない手つきでしたが、だんだん電気ドリルにも慣れ、穴を開けるのも早くなり、手際よく種駒を打ち込んでいました。

一人五本の植菌作業後は、各自持ち帰って管



理してもらったため、真剣な表情で管理方法を聞いていました。参加した親子は、「ママ、きのこが出るのが楽しみだね」と話していました。

植菌体験の後は、会員のぶなしめじ生産者の施設で説明を受けながら見学しました。

菌床の材料を混ぜ合わせる機械から瓶に詰める機械、殺菌する釜、培養室などを見てから、最後は、発生舎に入り、実際にぶなしめじが瓶から出ている様子を見て、「わーすごい、おいしそう」という声が上がりました。

交流会の最後に、昼食を兼ねた「きのこ料理試食会」では、しいたけ、ぶなしめじのほか四種類を使ったきのこ料理九品を試食し「とてもおいしい」「家でも作ってみたい」と大変好評でした。



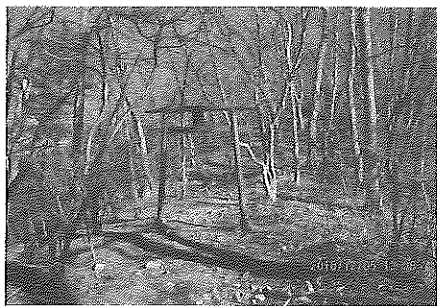
協議会では、今後もこのような栽培体験や「きのこのおいしさ」を消費者に知ってもらう機会を設けることによって、消費拡大に繋げたいとして来年度も計画しています。

（洪川森林事務所通信員）

榛名県有林を行く

当事務所管内には「榛名」「烏淵」県有林

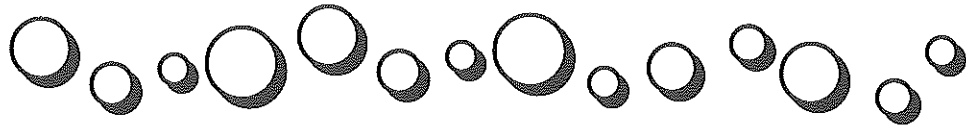
があり、「烏淵」経営区は「角落山」「榛名」経営区は榛名山南面に位置し、「相馬山」「黒石」県自然環境保全地域、「鏡台山」「天狗山」「杏ヶ岳」などを含み、合計千二百畝と広範に及んでいます。巡視員が日常的に林野火災防止、不法投棄監視等の森林保全管理業務、入山者等への安全指導などを行っています。昨年十二月、県有林経営計画樹立のための現況把握を目的に事務所職員で森林踏査を行いました。榛名神社付近に車をおき、作業道から登山道へ沢沿いに詰め「鏡台山コル」に到着しました。この稜線を境に南側が「榛名」経営区です。県有林南西端の「鏡台山南峰」を確認、コルまで引き返した後、天狗山山頂を目指すと道中は落葉した広葉樹林で比較的足下が良く、中高年や女性登山者を見かけるなど地域の方に親しまれて



天狗山の鳥居群

性登山者を見かけるなど地域の方に親しまれて

各地



いることがうかがえました。「天狗山」は山頂が天狗の面を伏せた形に似ていることから名付られたように「天狗の鼻」など特徴的な名称がつけられています。山頂には沢山鳥居があり、ここ迄は特別な経験や技術が無くとも楽しめるコースです。その後、小鐘原ヶ岳、大鐘原ヶ岳、ピークを経由する旧箕郷町、旧榛名町境の稜線を行く登山道が続きますが踏跡は不明瞭です。途中に大物主命、大己貴命、猿田彦命等日本古来の神々の名が刻まれた石碑が十基以上あり、信仰の歴史を感じました。道は両側が急傾斜で足下が悪く登山に慣れない方にはお勧めできません。特に地蔵峠への下りは急峻で、国土調査の石標を頼りに足下を確かめながら慎重に下りました。地蔵峠で林道芦田小屋線に合流し県道榛名山・箕郷線方面へクマの足跡らしき新しい痕跡を横目に見ながら下りました。この区域の林況は広葉樹中心であるため、森林保全を中心とした管理を行うことを確認しました。

(西部森林環境事務所通信員)



大岩に鎮座する石碑達

ぐんま緑の県民基金事業を活用した森林環境教育

平成31年2月26日、藤岡市立美九里東小学校で、ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業を活用した林業体験教室が、六年生24名を対象に開催されました。



事務所職員による講義

森林の働きについての講義では、木材をたくさん使うことで森林の整備が進み、地球温暖化の防止になるといった話に子ども達の関心を集めていました。

また、間伐の話題になると、子ども達は間伐体験教室をしていたこともあり、講師の質問に自らの体験を答えていました。

プランターカバーの作成は、上野村森林組合で加工した材料を組み立てました。釘を打つ位置を自分たちで印をしてからの作業となり、この作業には思いの外、時間が掛かったようでした。

電動工具に手こずる場面もありましたが、

子ども達は時間を追うたびに上手に使いこなし、難しいところはお互いに協力して作業を進めていました。



木工工作説明

時間内では完成まで至りませんでしたでしたが、自分たちの作品に満足そうな様子でした。



完成に向けて協同作業

美九里東小学校では、本事業を活用した間伐体験教室やきのこ栽培教室の開催を実施しています。このような体験を通じて、森林や林業への関心が少しでも高まるようにしていきたいと考えています。

(藤岡森林事務所通信員)

の便り

南牧村で造林地のシカ捕獲を推進!

当管内は県内でもシカの生息密度が高く、今後増加が見込まれる主伐・再造林の推進の上では、獣害対策が不可欠となっています。

獣害対策は柵等の物理的対策のほか、捕獲により植栽地周辺の個体数を軽減する事が重要です。しかし、植栽地での捕獲は、畑地周



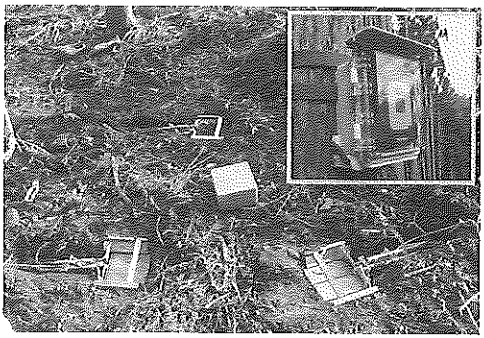
くくりワナの設置実演

辺の捕獲と異なり、従事する人の負担が大きく、推進することが難しくなっています。このようなか、下仁田町森林組合では、造林補助事業を活用した職員による誘引捕獲に取り組みを更に普及するため、「複数台のくくりワナと通信装置による誘引捕獲システム(林業試験場考案)」を

活用し、南牧村森林組合職員と共に捕獲を実施しました。このシステムは、クマ等の錯誤捕獲を避けるため、獣道から離れた場所に罠でシカを誘引し、罠塩周囲に設置した複数台(今回は3基)のくくりワナで捕獲する方法です。ワナの稼働状況はスマホアプリにより手元で確認できるため、植栽地の捕獲でネットワークとなる見回りコストと労務負担を大幅に軽減できます。捕獲は南牧村森林組合職員3名、事務所職員3名のほか、緊急時のため銃猟免許所持者に協力頂き7名の従事者で実施しました。狩猟期前の限られた期間(5日)でしたが、1頭も無事捕獲し(捕獲効率67%)、初心者でも適切な準備により効率的に捕獲可能である事がわかりました。南牧村森林組合では従

事した3名がワナ免許を取得しており、森林管理者である森林組合が、シカ対策の中核を担うべく、事務所では今後も効果的な捕獲の実施に向けた支援を行います。

(富岡森林事務所通信員)



ワナ設置状況と通報装置

た。南牧村森林組合では従

林業現場の巡回指導を実施

平成三十一年二月十四日に吾妻森林環境事務所管内で「労働安全巡回指導」を行いました。当日は、中之条労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部、林業振興課の協力を得て行いました。

これまでは、管内の代表的な事業体の作業班を主に行っていましたが、今回は吾妻素材生産組合の構成員で、しばらく巡回指導に伺っていない事業体を対象に行うこととなりました。



現在、同組合の構成員は15事業体ありますが、中でも中堅の2事業体の指導を行いました。午後巡回した事業者は、親子3代で素材生産業を営んでいました。先代は現役を引退され、現在

は親子二人三脚で伐出作業を行っています。息子さんは二十代で、高齢化が進んでいる林業界では貴重な後継者となっています。

伐採作業では「上方よし、周囲よし、前方よし、足下よし、待避方向よし」と基本に忠実な作業を始めました。そして、受け口を切り、追いつ切りを少ししたところで作業を一旦停止。受け口面を見て、斜め切りと下切りの会合線が一致しているか、また、伐倒方向に対して受け口の向きはよいか等を確認。その後伐倒してもらい意見交換。講師ではいくつかの指摘事項もありましたが、概ね良好でした。

林業現場の巡回指導を行うことにより、安全作業実施の一助になりればと願うものです。



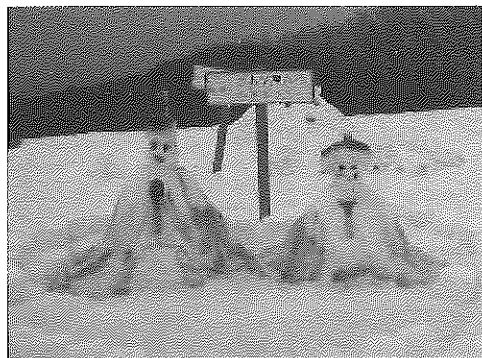
(吾妻森林環境事務所通信員)

「21世紀の森」雪まつりを開催

3月3日、沼田市と川場村にまたがる県立森林公園「21世紀の森」を会場に、第十七回「21世紀の森」雪まつりが同実行委員会の主催により開催されました。

当日はあいにくの空模様でしたが、比較的穏やかな一日となり、五百二十名の参加者で賑わいました。たくさんの家族連れが、そり遊びや宝探し、ストラックアウトなどのゲーム等を楽しみ切り楽しんでいました。

毎年恒例の「雪だるまコンテスト」で



は、五十四組がエントリーし、ひな祭りやアニメのキャラクターなど地域や時節をテーマに取り入れた色鮮やかで個性的な作品で出来映えを競いました。優秀作品には地元特産品である雪ほたかやリンゴジュースなどの詰め合わせが賞品として贈られました。

雪だるまコンテストの後の行われた宝探しでは、小さなお子さんが雪の中に埋もれたお宝を夢中で探し当てていました。参加されたみなさん大変お疲れ様でした。

標高千メートルに位置する県立森林公園「21世紀の森」は、アクセス道の除雪が完了し、3月から開園となりました。これからは、雪解けと同時にカラマツやミズナラなどの芽吹きや新緑など、周囲の山々の景観とともに、来園者の目を楽しませてくれます。皆様のお越しをお待ちしております。

(利根沼田森林環境事務所通信員)



各地の便り

林業関係事業 視察研修会を開催

平成三十一年三月一日（金）、桐生森林事務所管内の林業関係者を対象に千葉県木更津市の㈱キータック木更津工場と道の駅木更津うまきたの里の視察研修会を開催しました。

キータック木更津工場では構造用LVL（単板積層材）を製造しており、その原材料は以前は南洋材を主力としていましたが、現在はロシア産ダフリカカラマツを主力としていて、近年では国産のカラマツやアカマツの使用も進めているとのことでした。

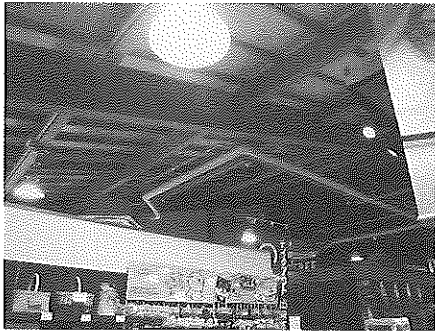


ロータリーレースによる単板加工

敷地内の工場には多くのロシア材に加え、山梨県産カラマツや長野県産カラマツなどの丸太が山積みとなっており、工場内ではロータリーレースと呼ばれる機械により、原材料である丸太が大根の桂剥きの要領で次々と3〜4mmの厚さの板に加工され、乾燥や強度検査による分別が自動的に行われ、LVLや合板の材料となる単板が製造されていました。

次の工程では製造された単板への接着剤の塗布、重ね合わせ等もほぼ機械によって行われており、次々とLVLが製造されていました。

意見交換では、参加者からロシア材と国産材の違いや、国産材の地域による強度差や、カラマツ以外の樹種の利用状況についての質問がありました。キータックの担当者からは、地産地消でのLVLの活用事例や、今年、山梨県で稼働予定の新しいLVL工場では、内装用LVL等でスギ丸太の需要があり、群馬県からも是非出荷をお願いしたいとの話がありました。



道の駅の天井には大きなLVL梁

その後、キータックのLVLを活用した施設である道の駅木更津うまきたの里に移動し、キータック担当者から施設概要の説明を受けた後、施設の見学をさせてもらい、参加者は実際のLVLの質感や、施設の雰囲気等を確認していました。

（桐生森林事務所通信員）

地域を担う人

赤城南麓森林組合

鹿沼 拓充さん

一 趣味

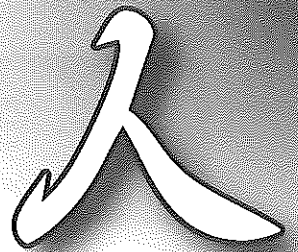
映画鑑賞

二 今後の抱負

緑の研修での経験を活かして、安全に作業をしたいです。



地域を担う



磯村産業株式会社

田中 篤志さん

一 趣味

読書、DIY

二 今後の抱負

これまでの研修を活かし、新しいことは学び、チーム内のコミュニケーションを大切に業務を全うしていきたいと思いますが、至らぬ点が多々あると思います。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。



鍋川東部森林組合

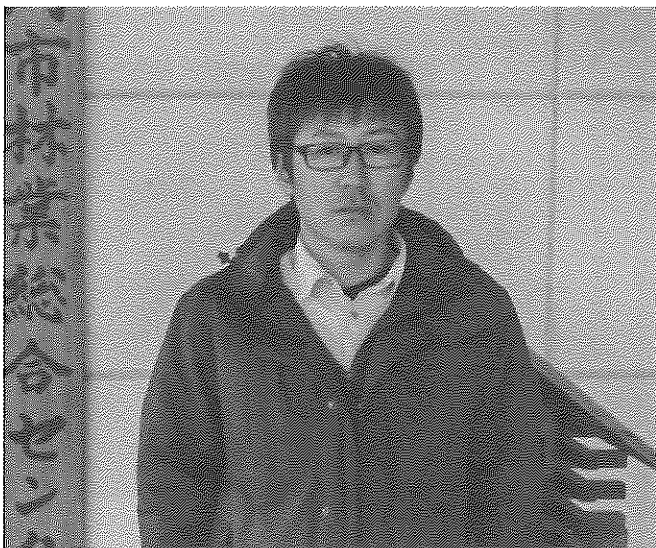
小林 裕雅さん

一 趣味

フットサル

二 今後の抱負

安全作業を心がけ、未永く仕事を続けていきたいと思えます。技術・知識・経験などまだまだ未熟ですが、日々努力し、成長していきたいです。



角石林業株式会社

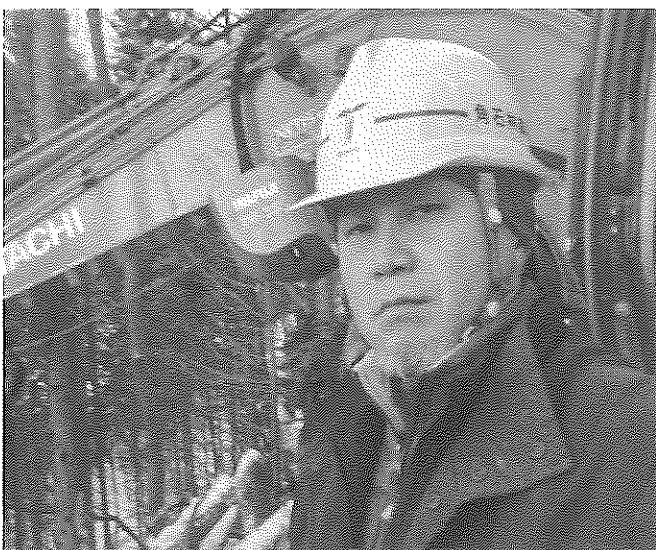
須藤 隆行さん

一 趣味

料理

二 今後の抱負

林業作業は技術や安全作業など知識を必要とするため、これからも日々一つずつでも多く学んでいきたいと思えます。けがの無い作業が出来るように、従業員同士コミュニケーションを取り、職場の絆を深めていきたいと思えます。



森の談話室

いつも見ていた故郷の山と町で

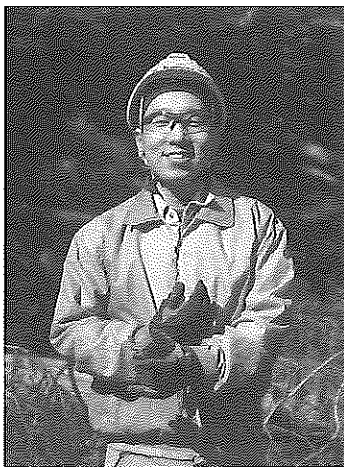
下仁田町森林組合

三井田 大地さん

桃の節句を控えた2月下旬、「ネギとこんにゃく」で有名な下仁田町のスギ林で、間伐作業に従事する若き三井田さんを訪問しました。私達は昨年、管内高等学校の進路指導主事の先生から、「林業は就職先として全く認知されていない」と聞いていたこともあり、なぜ三井田さんが地元へ戻られ、林業への就業に至ったかを知りたかったのです。

三井田さんは平成5年生まれ。地元下仁田町内の小中学校、富岡高校を経て首都圏の大学に進学しました。就職については、「多くの人は都会で就職しましたが、自分はそのことに違和感があった」そうです。

地元の下仁田町に戻ると、神津牧場で半年ほどアルバイトをしたそうで、先輩技術員は、三井田さんからソフトクリームを買ったこと



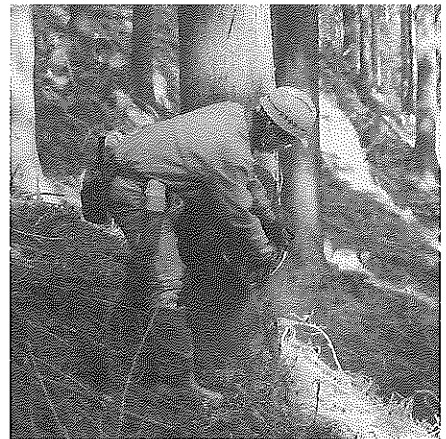
微笑む三井田さん

を覚えていたとのことでした。

その後、ハローワークで下仁田町森林組合の求人が目にとまり、「もし自分に合わなくても、またそのとき考えればいいや」と応募し、平成27年に下仁田町森林組合の作業班に採用されました。

牧場や森林で働くという自然に寄り添った仕事を希望していたのかを尋ねたところ、「結果的にはそうだったのかもしれませんが、小学校の職場見学で森林組合に行ったとき、花粉症について質問をしたり、小さい頃から近くに製材工場や市場があるので、材木はよく見えていたが、山の現場のことは知らなかった」そうです。思うに三井田さんの心には、無意識のうちに故郷の情景が入り込んでいたのかもしれない。

就業時は、林業の知識も体力も無くて大変でしたが、現在は緑の雇用期間で得られる資



格は全て取得し、体力もついたそうです。「林業は想像以上に厳しくて危険と感ずることもありですが、作業は安全第一が徹底されていて、とことん教えてくれる先輩の情熱を支えとしていきます。何より森林を整備して地元の山が綺麗になるのは、達成感とともに誇りを感じる」そうです。三井田さんは8月に21世紀の森で開催された県林業技能競技会で3位になるなど、面倒見の良い先輩に教えていただきながら技術を磨いています。今後は、「先輩のように、いろいろな作業をこなせるようになりたい」とのことです。

今回、三井田さんが働く現場を見て、町総合計画のキャッチフレーズ「人が輝き、暮らしが輝き、未来が輝くまち しもにた」が、森でもこだまし始めているかのようでした。三井田さん及び先輩方の益々の活躍と、これからも三井田さんのような人が就業されることを期待します。



先輩方とともに

(富岡森林事務所通信員)

読者からの投稿

さらに50年先を見据えて

～信用第一、地域に根ざした企業を目指す～

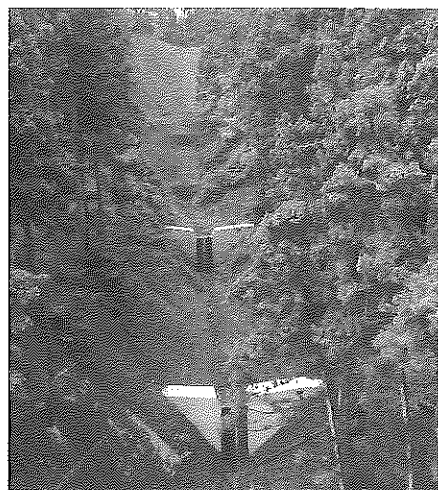
弊社は、昭和四十三年の創業。昨年は、丁度創業五十年の節目の年でした。

当初は、電柱材を中心とした製材及び素材生産業を営み、昭和五十年代から一般土木建築公共工事に参入、平成に入って森林土木工事を受注できるようになりました。

現在、社員二十名、売上高約6億円、営業範囲は安中市松井田町周辺で、地域に根ざし、地元の皆様から信頼され必要とされる企業を目指しています。その一環として、二十八才の時に消防団に入り、現在も続けています。大雨や台風等の災害、大雪などに際し、住民生活に支障や被害が出ないよう、早め早めの対応を心掛けています。

さて、森林土木工事を始めて約三十年になります。高技術力で良い工事をする事は、会社の信用・信頼度アップ、また地域への貢献という点から最も重要と考え、社員一丸となって取り組んできました。その結果、平成二十九年度建設工事表彰では県知事賞及び林野庁長官賞を、また三十年度も知事賞を受賞させていただきました。これも偏に関係機関や同業他社の皆様方ご指導のお陰であり、また、主任技術者をはじめとする社員の努力に心から感謝しているところです。私は現在、県森林土木建設協会技術委員長を務めており、業界全体の施工技術の向上、工程や歩掛の改善に少しでもお役に立てればと考え

ています。

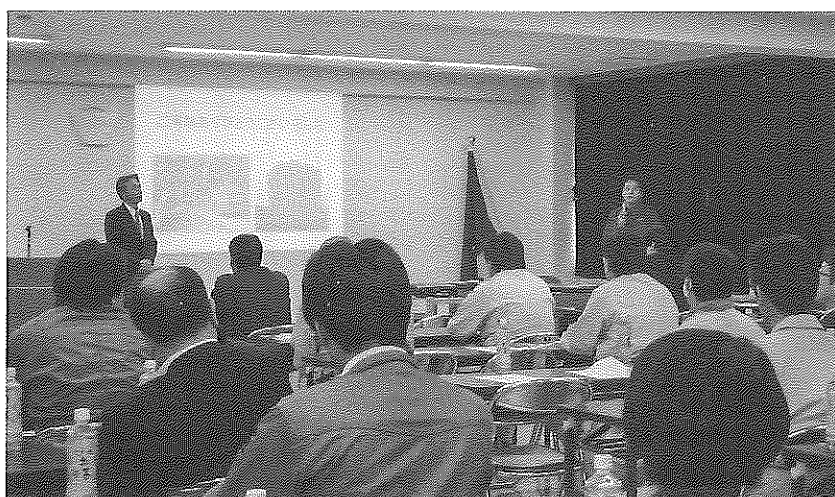


平成29年度表彰工事
(安中市松井田町新井)

平成三十年十月十七日、県桐生森林事務所において、『建設業・林業の連携について』と題した講演をさせていただきました。

冒頭に記したとおり、弊社は創業当初から素材生産業を営んでおり、平成四年に高崎地区素材生産組合の若手メンバーで結成された協同組合高崎林業機動隊に私も参加しました。同協同組合は解散しましたが、その後仲間四人で協同組合テクノフォレストを設立し、高性能林業機械と高管路網を組み合わせた安全で効率的な素材生産作業に取り組んでいます。丸太は重く、嵩張ります。道路と機械が無しでは今日の林業は成り立たちません。この点、重機や土木工事に精通した建設事業者と素材生産業者との連携は、きっと林業再生のお役に立てると考えております。

山づくりも家づくりもそうであるように、お客様や地域の皆様とは五十年、百年の長い付き合いとなります。父から私として一昨年から会社に入った二人の息子達へと、百年続く企業を目指し、信用と信頼を第一に、社員一丸となって取り組んでいきます。



平成30年10月17日 講演会(左端が筆者)

(株)萩原工業 代表取締役 萩原哲也

ス グ ツ ピ ト

WOODコレクション 2019

WOODコレクション(モクコレ)2019は、日本全国の木材製品や技術の展示、商談機会の提供などを目的として、平成31年1月29日・30日の2日間、東京ビックサイトに開催されました。今年で4回目の開催となるモクコレは、年々参加団体が増加し、全国40都道府県から企業や団体が参加。群馬県は今回初めて参加し、群馬県産2×4材販路拡大グループ、群馬県森林組合連合会、群馬県、群馬県木材組合連合会、群馬県木工振興協会など6つの団体や企業が出展しました。

群馬県・県産2×4材のテーマは「ぐんまの木を使った自慢のいっぴん」。ぐんま優良木材や県産材を使用した内装材を展示したほか、2020年春オーブンのGメッセ群馬で使用予定のカラマツの内装パネルやこけし等の工芸品、ギターやカスタネットなどの楽器やインテリア用品など、群馬県産材を使った一押し品々を紹介。群馬県の良質な木材とその利活用について情報を発信しました。

また、県産2×4材販路拡大グループのブースでは2×4材を使用して展示用の駆体を製作。来場者実際に触れてもらいながら材質の良さや寸法精度の高さなどを説明しました。また、会場内のステージでは小井

土代表が全国的に珍しいグループによる県産2×4材生産の取り組みについてプレゼンテーションを実施。多くの方に関心を寄せていただきました。

本展示会は、群馬県の良質な木材を全国に向けてアピールするまたとない機会であるため、県内関係団体や企業からの要望等を取り入れながら、今後も積極的に参加していく予定です。



県産2×4材のブース



県・県木連ブース

ぐんま林業学校 (林業基礎研修)

この研修は、県内林業事業体への就業を希望する方に、森林・林業に関する基礎知識を学んでもらい、また林業の一般的な作業等を体験してもらい、林業事業体への就業を促進することを目的としており、平成25年度から開催しています。

今年度は新設した短期研修を1月19日(土)

に開催し、8名の研修生が参加しました。午前中は林業現場で高性能林業機械による作業の見学と共にチェーンソーによる丸太伐り体験を行い、午後は森林学習センター(渋川市)で林業の実態や仕事内容について学びました。最後の林業従事者との意見交換会では多くの質問が飛び交い、充実した一日が締めくくられました。

また、1月21日から2月1日にかけては長期研修(10日間)を開催しました。基礎研修では林業の基礎知識や、刈払機・チェーンソー等の安全作業について学び、実地研修では県内の林業事業体で伐倒・造材・刈払等の作業を体験しました。実際の林業の作業を体験することができる貴重な時間であり、林業のやり甲斐や大変さ、楽しさなど、多くのことを肌で感じる事ができたと思います。今回4名の方が長期研修を修了されました。今後、県内の事業体への就業につながることを期待します。



短期研修期間での丸太伐り体験

トピックス

第十九回群馬県きのこ料理コンクールの開催

今年度は、六月十八日から九月二十八日にかけてレシピを募集したところ、中学生から社会人まで様々な世代から三百九十六名の応募がありました。

十二月一日、学校法人山崎学園群馬調理師専門学校で会場で行われた本審査(調理審査)には、書類審査を通過した十一名が出場し自慢の腕を振るいました。

審査の結果、最優秀賞である群馬県知事賞には、群馬県立大間々高等学校 松島杏奈(まつしまあんな)さんの「椎茸とズッキーニの仲よし肉巻き丼大葉ぞえ」が選ばれました。松島さんには群馬県代表として、三月十四日に東京都で開催された全国大会に出場していただきました。

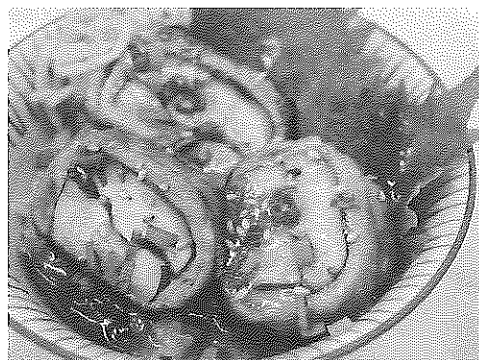
本コンクールの入選作品のレシピは、群馬県ホームページで公表しております

本コンクールの入選作品のレシピは、群馬県ホームページで公表しております



きのこ料理審査

ので、ぜひ料理作りに挑戦してください。なお、来年度も六月から募集を開始する予定です。皆さんの御応募をお待ちしております。



群馬県知事賞

第19回群馬県きのこ料理コンクール入選作品集
<http://www.pref.gunma.jp/06/e3600213.html>

第二十二回群馬県きのこ品評会の開催

当品評会は、栽培技術や品質の一層の向上、きのこの消費拡大を目的として、一月二十二日(審査)、二十三日(表彰式及び出品物の即売等)に県庁一階県民ホールで開催されました。

出品されたきのこは、生しいたけ、まいたけ、なめこ、ぶなしめじ・えのきたけ等で出品数は二百十九点でした。生産者の皆様には、高品質なきのこを多数出品していただき、ありがとうございました。

また、今年も県庁地下食堂の御協力により「きのこフェア」が開催され、県産きのこがたくさん入った食事メニューを多くの人に食べていただき、大変好評でした。来年度も開催する予定です。皆様のお場をお待ちしています。

なお、各部門の最高賞は次の方々です。おめでとうございます。

部門	賞区分	受賞者
生しいたけ	知事賞 農林水産大臣賞	森田 富雄 (渋川市)
まいたけ	知事賞 林野庁長官賞	(株)キノコ・輪大 (高崎市)
なめこ	知事賞 林野庁長官賞	高山 康雄 (沼田市)
ぶなしめじ	知事賞 林野庁長官賞	星野 初雄 (片品村)



農林水産大臣賞の生しいたけ

総合建設業

△黒澤建設株式会社

代表取締役 黒澤英紀

〒370-1503 群馬県多野郡神流町生利1711番地2
TEL: 0274-57-2011 FAX: 0274-57-2369
E-mail: kuroken@kannamachi.jp

総合建設業

『さあ、一緒につくろう。』



田畑建設株式会社

代表取締役社長 富澤 博邦



〒375-0021 群馬県藤岡市小林326
TEL 0274-22-2236
URL <http://www.tabata-kk.co.jp/>

エコアクション21

総合建設業




株式会社塚本工務店

〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡 1848-1
TEL:0274-23-1212
E-mail: eigyoubu@tsukamotokoumuten.jp
<http://www.tsukamotokoumuten.jp>



CORISMIS
JC 189-1



緑の募金で
緑豊かな ふるさと ぐんま

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会

前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル内
☎ 027(280)6257
URL: <http://www.g-sinrin.jp/>

表紙の写真

第9回 美しいぐんまの山と森林フォトコンテスト

・タイトル 「光の海」

・撮影場所 前橋市(赤城山)

・撮影者 後藤 金松 さん(利根郡昭和村)

知事賞受賞作品

発行責任者 大杉 治 印刷者 杉浦印刷株式会社

発行 行 群馬県林業改良普及協会